

SDG s への取り組み

OUR PRACTICES TO ACHIEVE THE SDGs

2023年度 年間活動報告について



【はじめに】

当社は、2020年3月に「国連グローバル・コンパクト」の理念に賛同し、参加を表明しました。そして、その活動における理念の遵守・実践に向けて、「持続可能な開発目標（SDGs）」を指標とした社内活動を開始しました。2020年度から始めた取り組みは4年目を迎え、各本部における活動により課題達成への深度を深めています。また、2023年3月にSBTiへの参加を表明しました。温室効果ガス削減目標を設定し、2030年に向けて二酸化炭素の排出削減を実施します。【Target】「藤本化学製品(株)は、2021 年を基準として、2030 年までにスコープ1 およびスコープ2 の GHG 排出量を42 %削減し、スコープ3 の排出量を測定し削減することを約束します。」

本報告書は、2023年度各本部の年間活動目標に基づき作成しました。それぞれの活動については、半期ごとの進捗確認と修正を行い、一年間の活動活性化に繋げています。新型コロナウイルスの感染症対策は、第五類感染症に緩和され対応策も変更されましたが、医薬品の安定生産継続と従業員に対する健康増進の充実化を進めていくとともに、SDGsの理念に対して、自分事として我々一人ひとりにとってこの取り組みが「当たり前」となり、より良い職場環境の形成と安定的な企業活動の実施を目指しています。日々の活動における「環境問題への取り組み」や「働き方改革、職場環境の充実」を実現するために、従業員すべての人々の健康や地域社会の安全衛生の確保を踏まえ、さらに地球環境の保護にも配慮した企業活動をめざしていくことが必要と考えます。

従業員の皆様においては、自分が所属する各本部ごとに実践目標が設定されており、今回、実施項目とその年間活動の進捗度を振り返ることで、来年度へのそれぞれの目標達成に向けてSDGs活動を活性化していただくことをお願いします。

藤本化学製品株式会社
ESG推進室
2024年4月26日

2023年度 SDGs 活動目標

目標設定：2023/4/28

ESG推進室

目標3：すべての人に健康と福祉を

事業目標：本業を通じた社会貢献の実施

- ・医薬品原薬の受託製造を通じて、GMP管理のもと、高品質な医薬品を製造し、安定的な供給を通じて、世界に人々の健康に貢献します。

【部門別目標】

生産本部	生産計画・納期の全うと、品質保証体制の維持管理
研究開発本部	医薬品開発を通じた社会貢献の実践
管理本部	法令遵守の徹底、社内活性化
営業本部	原材料安定調達



目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

事業目標：省エネルギー化の推進

- ・エネルギー原単位に基づく、エネルギー消費量の削減を実施します。
- ・温室効果ガスの削減に貢献する設備、機器の導入を推進します。

【部門別目標】

生産本部	ISO14001、省エネ活動を通じた環境対策実践
研究開発本部	環境負荷を低減した医薬品製造への貢献
管理本部	業務プロセスのデジタル化、エコシステムへの変革（DX）
営業本部	営業活動の効率化



目標8：働きがいも経済成長も

事業目標：事業活動を通じた人権尊重，法令の遵守

- ・働き方改革の推進による社内活性化を実現します。
- ・社内人材の活用、将来を見据えた計画的な人材採用を行います。
- ・サプライチェーン全体でのCSR調達を強化します。

【部門別目標】

生産本部	時間外労働の削減と作業負荷の軽減
研究開発本部	継続的な研修システムの遂行と学会・講習会への参加
管理本部	会社戦略に沿った人材採用、従業員のスキルアップ
営業本部	コミュニケーション力の強化



目標9：産業と技術革新の基盤を作ろう

事業目標：医薬品製造に貢献する技術開発

- ・医薬品のモダリティは多種多様に広がっています。わが社が得意とする低分子医薬だけでなく、核酸医薬やmRNAなど他のモダリティにも貢献できる技術開発を目指します。

【部門別目標】

生産本部	—
研究開発本部	新規技術開発による医薬品製造への貢献
管理本部	—
営業本部	核酸事業の拡大化



目標12：作る責任使う責任

**事業目標：リスクマネジメント，危機管理の推進，原材料の使用量削減，
リサイクルの強化，環境にやさしい製造方法の開発。**

- ・ 原材料の安定的な調達を推進し、計画的な製造を行うことにより、エネルギー消費量を削減します。
- ・ 有害物質の使用量削減や、製品中の有害物質の管理強化をします。
- ・ 有機溶剤等のリサイクルを推進します。
- ・ 製造法の改良による、工程や原材料の削減を推進します。

【部門別目標】

生産本部	化学物質関連の法規制対応と廃棄物削減、リサイクル推進
研究開発本部	製造プロセスの最適化検討を通じた取り組みの推進
管理本部	CSR、リスクマネジメントの推進
営業本部	重要原料の複数ソース化と新技術導入に向けた情報収集



目標14：海の豊かさを守ろう

事業目標：工業廃水の管理

- ・ 活性汚泥処理設備の管理徹底と、大阪湾への処理水の規制値を達成します。
- ・ 下水道処理への排水管理を徹底します。
- ・ 高薬理活性施設で使用した、産業廃棄物の処理方法の管理を徹底します。

【部門別目標】

生産本部	KYK使用済み風袋、工業排水管理
研究開発本部	工業排水管理、水質管理の知識修得
管理本部	—
営業本部	産業廃棄物の有効活用



生産本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考 (製品名等)	年間の進捗	進捗度
泉北工場	製品C及び製品Fの安定生産	計画物量達成	目標3		計画通り	100%
	製品Sの粉碎工程導入	PV完遂	目標3		PV実施済み	100%
	クレーム”0”の達成	0件	目標3		3件発生	0%
	環境に配慮した設備の導入	3件以上	目標7		7件	100%
	電気使用量の削減	0.1%削減	目標7		0.1%	100%
	適切な要員計画の立案、採用活動により作業負荷の軽減	稼働率75%以下	目標8		74.5%	100%
	無事故無災害の達成	0件	目標12		0件	100%
	溶剤リサイクル化等による省資源・省エネルギーの達成	1件以上	目標12		1件	100%
	高薬理活性設備の使用済み風袋管理の徹底	暴露0件	目標14		0件	100%
	活性汚泥処理日常のトレンド分析による傾向解析と対策の徹底	規制値順守	目標14		規制値順守	100%
金楽工場	製品Pの安定供給	各品目の変更検討実施	目標3		水素化ナトリウムメーカー変更検討 (ユースト)終了、変更承認済み	100%
	調達困難原料の原料メーカー変更検討 水素化ナトリウムメーカー変更等					
	製品G増産体制の確立	13ロット/年体制の確立 協力会社N、中間体T増産体制	目標3		協力会社N、中間体T 技術移転完 遂	100%
	製品A増産体制の確立	協力会社Aへの技術移転完遂			協力会社Aへの技術移転完遂	100%
	クレーム”0”の達成	0件	目標3		0件	100%
	環境に配慮した設備導入	4件以上	目標7		4 件	100%
	電気使用量削減	0.2%削減	目標7		0.22%	100%
	適切な要員計画の立案、採用活動による作業負荷の軽減	稼働率70%以下	目標8		66.4%	100%
	無事故無災害の達成	0件	目標12		2件	0%
	製造工程の改良によるエネルギーや廃棄物の削減	1件以上	目標12		1件	100%
	日常監視及び週1回の水質試験実施	規制値順守	目標14		規制値順守	100%
経営企画部	工場生産力アップのための設備投資計画の確実な実行	新管理棟、新天地Pjの遂行	目標3		新管理棟竣工、新天地委員会及び Pjを運営し設計継続中	100%
	ISO14001,省エネ活動を通じた環境対策実施					
	・ ISO14001活動の推進	JQA審査における指摘 0	目標7		指摘0件	100%
	・ 省エネ活動の推進	エネルギー原単位1%減達成	目標7		前年度比1.0%削減、継続実施中	100%
品質保証部	化学物質関連の法規制対応	化審法、安衛法対応	目標12		漏れなく対応実施	100%
	供給者監査の計画的な実施	計画47件	目標3		58件	100%

研究開発本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
研究開発本部					2030年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2030年：90品目	目標 3		15品目	17%
	・スケールアップ検討	2030年：90件	目標 7		18件	20%
	・全員ノー残業の実施	2030年：120回	目標 7		36回	30%
	・学会・講習会への参加	2030年：150件	目標 8		99件	66%
	・新技術開発の検討	2030年：30件	目標 9		12件	40%
	・製法改良検討	2030年：30件	目標 1 2		19件	63%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2030年：100%	目標 1 4		異常なし（3年）	30%
プロセス開発研究所	・水質に関する勉強会の実施	2030年：10件	目標 1 4		3件	30%
					2023年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2023年：9品目	目標 3		6件	67%
	・スケールアップ検討	2023年：9件	目標 7		5件	56%
	・全員ノー残業の実施	2023年：12回	目標 7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2023年：8件	目標 8		20件	100%
	・製法改良検討	2023年：3件	目標 1 2		4件	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2023年：100%	目標 1 4	合同で実施	異常なし	100%
基盤技術研究所	・水質に関する勉強会	2023年：1件	目標 1 4	合同で実施	1回実施	100%
	・全員ノー残業の実施	2023年：12回	目標 7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2023年：7件	目標 8		11件	100%
	・新技術開発の検討	2023年：3件	目標 9		4件実施	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2023年：100%	目標 1 4	合同で実施	異常なし	100%
	・水質に関する勉強会	2023年：1件	目標 1 4	合同で実施	1回実施	100%

管理本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
管理本部	エコシステムへの変革 (DX)	基幹業務システムのBPR、刷新 給与アウトソーシング	目標7	OBC HRブレイン	OBC導入し並行稼働中 2月より給与アウトソーシング開始	100% 100%
	未来型オフィス実現	拠点内線システムの再構築 固定電話の削減とスマホ内線化	目標7	NEC Aspire	完了	100%
	人材採用	新卒・中途 合計15名+α (製造5人、品管4人、研究4人、 営業2人、薬剤師)	目標8	薬剤師の増員	新卒採用人数12名(研3、品3、製6) 4/1以降中途採用9名(薬剤師3名、電験1名 営業1名、品管2名、製2→1名退職)	100% 100%
	従業員のスキルアップ	研修実施(階層別、新人等) 社内英語化推進のルール制定	目標8		新社員研修1回,階層別研修2回,Web研修1回 社内英語化推進内規作成	100% 100%
	BCP見直し	BCPの訓練実施 BCP記載内容更新	目標12		未実施(来期実施予定) 改訂終了	0% 100%
	法令遵守の徹底	CSRの推進(再エネ導入)	目標12		5月より再エネ導入	100%
		就業規則類の見直し更新	目標3		2023年度 3回改訂	100%
	社内活性	男性育休25%以上	目標3		100%(5人/5人中)	100%
		有休推進(取得6日以上)	目標3		取得6日未満の従業員33名	87%
		女性活躍(従業員比率22%以上) (女性管理職2名以上)	目標3		2024.4.1で24% 現在3名	100% 100%
		健康経営優良法人認定	目標3		2024年度認定	100%
		電子帳簿保存、インボイス対応	目標3	SMILEクラウド他	10月より開始	100%

営業本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
営業本部	CSRリスクの評価	30件	目標3		30件実施	100%
	省エネ活動推進	2件	目標7	ヨウ素／Pd回収、物品グリーン調達	・ヨウ素：メーカーの協力会社を利用して回収継続。 ・Pd：リサイクル業者ににて実施（2.2kg回収，819万円利益） ・18万円購入の内、9万円（約50％）のグリーン調達。昨年度63％に対して割合低下	100%
	勉強会	情報共有およびスキルアップ	目標8		・新入社員教育、・英語スキルアップ（英会話（社内講師）、TOEIC受験、FDA・海外顧客対応） ・医薬品原料の各グループとの連携、・法規制セミナー聴講	100%
	核酸事業の基盤強化	テーマ獲得（5件）	目標9	会社SPとの具現化ビジネスおよびAmidite Block、Capping剤の導入	・Fujimat受注：2件 ・Amidite Block：会社SPより2件（検討段階）	50%
	上市品および開発後期品の導入とスケジューリング	6件	目標9	製品PA、製品N、製品O、製品H、製品K、製品C	・製品PA：受注、・製品N：受注、・製品O：開発中止、 ・製品H：受注、・製品K：提案済み→失注、・製品C：失注、 ・製品S：受注、・製品X原薬：受注、・製品S2：失注、 ・製品O1：受注、・製品K：受注	100%
	主力製品の安定供給	5件	目標12	製品A、製品F、製品G、製品C、製品S	各主力製品の物量、スケジュールの確認と関連部署との連携実施→製品Sの動きがストップした中で製品Xによるリカバリー実施。	100%
	フロー合成／ADC市場調査	Pharmira及び他CDMOにおけるフロー技術動向およびADC市場調査（5件）	目標9		・フロー技術：会社Pでの状況確認を実施のみ。→他社フロー合成技術の検討状況を確認（情報リストアップまでは未実施） ・ADC市場調査：下期から米国へのアクセスに向けて準備。→ADC市場調査は不十分。一方で米国展開に向けて、会社Iとコンサル会社との連携により当社プレゼン改定と顧客へのアクセス準備実施	50%
	新素材、新商品開発	3件	目標12	電子材料、化粧品の開発品導入	会社D：新規なし、会社A：新規なし 会社PE：新グレード製品Cの着手（年末に協力会社Dにて試作予定） 化粧品部材：コメヌカ水、シルク水の開発案件取得・製造実施	66%
	重要原料の安定調達	5件	目標12	中国以外のソースを視野	5件実行 原料Pは進展なし，中間体Tは不適合，製品Mは評価済み（会社Nでの開発中止），原料DIは評価完了，24年度購入予定，原料DEの会社NN製品は評価完了，24年度納入予定	100%
	廃液有効活用	2件	目標14	ヨウ素／Pd回収	対応済み	100%